

長尾 和宏先生

突然のお便り失礼いたします。

で産業医をしております と申します。
替え歌付きの頃からのブログの読者でもあります。

先生のコロナワクチン後遺症の考え方に賛同し
差し支えなければ
先生のクリニック宛てにわずかながら寄付をさせていただければ
と考えております。

2021年

地元医師会の要請を受け
数日ワクチン接種のお手伝いをする事になった
お手当分を
先生の今後の活動に役立てていただけたら
と思っているのですが
いかがでしょうか？
かねてよりワクチン接種でいただいた報酬は
困っている方に還元したいと考えておりまして
同業の長尾先生に託すのがベストではないかと思いついた次第です。
唐突なお願いで申し訳ございません。
ご検討のほど
よろしくお願い申し上げます。

2023.6.9

向暑の候 長尾先生におかれましては
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
突然のお便り 失礼いたします。

で産業医をしております と申します。

関西出身ではないのですが かつて亡祖父が で勤務医
をしていたことがあります (その後、にて耳鼻科医院を開業
→戦時下で廃院)

先生と同じく自分も 1958 年生まれで 先生のご著書を拝読
するにつれ 先生のコロナウイルス騒動に関する見解に賛
同し

福祉施設通所の娘とコロナチャンネルを楽しく拝聴してお
ります。

(歌唱付きの頃は習い事の声楽の素材に先生のお歌を
参考にさせて頂いたこともありました)

近況では

学校医をしている高校で「コロナワクチン後遺症 顔面神経
麻痺」と診断された生徒 ワクチン後の発熱

体調不良で欠席の生徒が目立つようになり

2023に入り
CFPと診断され
登校できなくなり
進学校を退学せざる
得ない生徒が
おります

中には胸痛を訴える者もおり

当初 懸念されていたことが まさに起こりつつあることに危機感を抱いています。

また 90 歳になる母の施設（地元の老人ホーム）の面会制限が本日より緩和されたのですが ワクチン 3 回済が条件になっており

1 回も受けていない自分は 対面することができず

残り時間の少ない中で非情な覚悟をしなければなりません。

集団生活の場である施設のルールなので仕方のないこととは言え

ここの所の長期にわたる自粛で母のフレイル 認知機能低下は目に見えて進んでしまいました。母自身、食事と入浴以外、自室から出られないことをとても憂えております。

（安全確保のため平時からそうなのか？）

介助なしに移動可の母でもエレベータで勝手に階下へ行くことは禁止されているので

行動範囲はごくごく限られています。

大学で後輩の経営する施設なのですが

近隣の施設が一律、“面会は接種済者のみ”と言うルールなのでしょう。

進言するまでもなく今の所静観しています。

以上色々書き連ねてしまいましたが
先生の提唱されるコロナワクチン後症候群
の病態解明～対処法につき
オンライン参加で学ぶ機会がありましたら
ぜひともご教授いただきたく
お手紙を差し上げた次第です。
ご多忙の所 お目にとまりましたら
幸甚に存じます。

当方臨床に関わっておらず

患者さんの処方をするのではないのですが
仕事先の事業所で救急搬送事例が増えており
何か役に立てることはないかと模索しております。
今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

*夫は小児科 勤務医ですが
ワクチンのリスクについて理解がなく
話し合うことはありません。

2022 (令和4) 6/20 記